

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年1月実施分]

【全般的な特徴】

7割以上の項目において肯定的回答率が前年度を上回りこの3年間で最も高い平均値となった。全21項目中15項目において肯定的回答率が8割を超えており(6項目で9割以上)全般的な満足度は高いといえる。特に大きく数値が向上した項目は、「授業満足度」「教育相談」「集会での話」「生徒(進路)指導」に関する設問であり、今年度の成果が明確に表れた。

【学習指導】授業に対する全般的な満足度は86%と高評価である。細目を検証すると、パソコン機器などの活用と成績評価に関する評価が極めて高く(92%)、授業のわかりやすさ自体も81%と13%上昇し、少人数授業や選択授業に関する評価も86%(7%上昇)となった。オンラインを含む丁寧な授業や観点別評価に着目した教材の提供が功を奏したと思われる。

【生徒(進路)指導】生活指導は適切に行われ(79%)、進路に関する指導も適切である(87%)と評価され、生徒から信頼を得ている。

また、集会での話が分かりやすいという項目が75%(12%上昇)となり、放送等を多く活用した集会の持ち方に工夫した努力が実った。

【その他】「学校に行くのが楽しい」(84%)や「今のクラスに友達がいる」(96%)という結果は、安全で安心な学校ができている証拠であり、この状況が維持できるよう取り組んでいく。